

羽田空港国際線旅客ターミナルビル 見学会

羽田空港国際線旅客ターミナルはユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、有識者や多様な障がい者(車いす使用者、肢体不自由者、全盲、弱視者、聴覚障がい者等)および関係事業者(航空会社、鉄道事業者等)を含めた様々な利用者の参加する「ユニバーサルデザイン検討委員会」を開催、「ワークショップ」を設置し、実物・実地での検証と意見聴取、改善策の協議を行い、施工・運営計画へ反映しています。(東京国際空港ターミナル株式会社ホームページより)

2013年5月15日(水)ターミナルビルを管理運営している東京国際空港ターミナル株式会社のスタッフによる、ハード・ソフト両面からの説明付見学会を受けました。

当日、人身事故の為、遅れを心配したのですが、18名、欠席3名の方が参加されました。

会議室にて羽田空港国際線旅客ターミナルのユニバーサルデザインの考え方から実現まで、1時間のレクチャ後、2グループに分かれ、見学をさせていただきました。

サイン計画

フライトインフォメーションボードは、UDフォントを採用、文字サイズも従来の空港のものより大きく、背景色とのコントラストを付けることにより視認・判読しやすさを感じますが、スマホなど手元で確認が出来ると、わざわざボードまで行かなくてもいいのではないかと思います。エスカレータやエレベーター利用時の音や音声による案内など、きめ細かいサービスを感じました。施設内では、点字ブロックや床材などで、UDの配慮をうかがうことが出来ました。

案内カウンター

手話、筆談ボードによるコミュニケーション、触知・点字のガイドブックを備え、用途に合わせた車いす、ベビーカーの貸し出しなどハード・ソフト面でも充実しています。

多機能トイレ

跳ね上げ式手すり等を左右対称にしたトイレを同一エリア内に配置、多目的設備 トイレはおむつ交換台・多目的ベッドを備え、さらに、世界でも類のない室内用、補助犬用のトイレ設備など、設備面でも利用者のストレスが無いように配慮を感じました。



インフォメーションボード



点字ブロックは、全ての入り口
には、設定されていない



手すりの点字



巻き込み防止のエスカレータ
と手すりの隙間



エスカレータのスピーカ案内



エレベータ入口



聴覚障害者向け非常用ボタン
音声による誘導



男子用トイレ使用中は白、非常時は緑のランプが点灯



多機能トイレ入り口



洗面側の装備は、凹凸なし



手話による案内



筆談用具



補助犬用トイレ(ペットはだめです)



平成 25 年 5 月 16 日
せたふく 大脇 秀雄